

事業所名

コモンチャイルドケア 児童発達支援

支援プログラム

作成日

令和7 年

1 月

30 日

法人（事業所）理念		Commonの社員であることに責任と誇りを持ちご利用者様に信頼される質の高いサービスの提供を目指す。					
支援方針		安心して楽しく過ごせる居場所を作る。 一人ひとりの良いところを伸ばし、自信をつけられるような関わりをする。					
営業時間		10 時	30 分から	17 時	10 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所後に検温と手洗いをし、体調の変化がないか児童の表情や様子から随時確認している。 身支度や来所時のシール貼りなどの一連の流れが決まっており、日々繰り返すことで流れが定着するよう促している。 定期的にトイレに行くよう声を掛けている。トイレに行った後等に、職員と一緒に身だしなみを整える練習をする機会を作っている。					
	運動・感覚	トランポリンやサーキット、バランスボールなどの運動療育を取り入れている。 ボタンかけやひも通しなど、手先を使った課題に取り組むことをメインプログラムに設定している日があり、微細運動にも力を入れている。 ビジョントレーニングもプログラムに取り入れている。					
	認知・行動	スライムや小麦粉粘土、寒天遊びなどの感触遊びを毎月プログラムの中に取り入れ、形状の変化や温度、力加減などを学ぶ機会を作っている。 来所する時間ごとにスケジュールを作っており、一日の流れを視覚的に分かりやすいように提示している。 文字や数字に関する課題に取り組むプログラムを設定している。小集団でゲーム性のある遊びをし、ルールを守る経験を重ねる。					
	言語 コミュニケーション	児童の気持ちを汲み取り代弁したり、適切な言葉の見本を示したりと、場面に応じた言語を獲得できるようサポートしている。手話が必要な児童には手話でのやり取りをしている。 挨拶言葉や反対言葉などのSSTの課題に取り組む日をプログラムに設定しており、語彙を増やせるような環境を作っている。 適切な言葉で要求を出す、ヘルプを求めるなど、全てを職員が手伝うのではなく児童の自発的な発信を促すことで、コミュニケーション能力の向上を図っている。					
	人間関係 社会性	自由遊びの時間を長めにとっているのので、遊びを通して他者との適切な関わり方やルールを守ることなど、社会性を学ぶことができる。 児童一人ひとりが好きな遊びをできるように、職員がじっくりと関わるようにしている。新たな遊び方や展開方法についてもその都度一緒に伝えている。 職員と児童との間に信頼関係を築き、事業所で安心して過ごせるような関わりを目指している。					
家族支援		送迎の際に児童の様子や成長した点を伝えている。保護者からの相談事に対しては共に対応方法を考えている。 定期的に事業所での様子を撮影した写真を送付し、事業所での詳細な様子を伝えるようにしている。			移行支援		保育園や幼稚園に送迎する際に、園での様子や事業所で頑張っていることなどを共有している。個別支援計画を共有している園もあり、支援方法の統一化を図っている。保育園での児童の様子を見に行くこともある。
地域支援・地域連携		事業所の一階にデイサービスがあり、利用者の方と時々交流をしている。			職員の質の向上		毎月支援に関する社内研修を実施している。 より専門的な知識を得るため、外部講師を事業所に招くこともある。 広島市が開催している研修にも積極的に参加をしている。
主な行事等		夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会などの行事を行っており、特別感のあるプログラムを設定している。 上記以外にも、季節に合わせた製作や水遊びなどを実施し、日々のプログラムの中でも季節の変化を楽しめるよう工夫している。					